

ごあいさつ

本県では、県民の皆様が健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らしていけるよう、「日本一の健康長寿県構想」を取りまとめ、健康づくりや医療環境の整備とともに「ともに支え合いながら生き生きと暮らす『高知型福祉』の実現」を目指した取組を進めています。



人口減少と高齢化が進む中で、県民誰もが安全で安心して暮らしていける社会をつくっていくためには、官民協働による新たな支え合いの仕組みを構築していくことが重要であります。

このため、人口の減少や高齢化の進展に伴って弱まりつつある地域の支え合いの再構築に向けて、地域福祉活動を推進するための県の基本指針となる「高知県地域福祉支援計画」を策定いたしました。

この計画では、地域のニーズや課題に対応した本県独自の福祉制度である「あったかられあいセンター」など地域福祉の拠点整備を進め、官民一体となった取組を一層充実させていきます。

また、地域で支援が必要な人などを早期に発見し、支援する体制づくり（「地域包括支援ネットワークシステム」の構築）を進めます。

さらに、福祉を支える担い手の育成や、利用者の視点に立った福祉サービスの質の向上に取り組み、安全・安心の基盤づくりを推進することとしています。

平成23年度以降、多くの市町村で地域福祉アクションプランが新たに策定される予定ですが、この支援計画を是非ご活用いただき、地域の支え合い活動が大きく広がっていくことを期待しています。県としましても、高知県社会福祉協議会など関係機関と連携し、それぞれの地域の取組を積極的に支援してまいります。

誰もが住み慣れた地域で、ともに支え合いながらいきいきと暮らしていける『高知型福祉』の実現を目指して、県民の皆様には、これまで以上にご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

最後に、計画策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました高知県社会福祉審議会の委員の皆様をはじめ、市町村や市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員や地域の方々など、ご協力いただきました多くの皆様から感謝を申し上げます。

平成23年3月

高知県知事 尾崎 正直